

平成 30 年度 事業報告書

社会福祉法人 さわらび会

介護老人福祉施設 ブエナビスタ

介護老人福祉施設 ブエナビスタ（空床型短期入所）

【平成 30 年度 介護老人福祉施設 ブエナビスタ 事業報告】

1. 基本方針

(1) 「生活の場」としての施設援助

施設の基本理念「誠実な心、優しい心、進取の心で利用者の生活に「安心」をもたらします」をケアの基本とし、職員間で共有、再確認しながら入居者・ご家族に対しサービスの提供を実施した。

(2) 個別ケアへの取り組み

新規入居された方に対して、これまで歩んでこられた生活歴やご本人・ご家族の意向に沿ったサービス計画書を作成、実施できるよう多職種協働にて取り組みを行った。施設プランの位置づけとしては以下の解決すべき課題に優先順位を設けた。

- (1) 生命に関すること
- (2) ご利用者・ご家族の要望
- (3) その他優先すべき解決課題

又、状態に変化（疾病、事故、褥瘡形成等）が見られた際、要介護度に変更があった際、入居者やご家族から希望があった際、期限が満了した際には担当者会を開催し検討した。

(3) 介護サービス向上に向けての取り組み

個別ケアの特色を活かし、施設理念である 3 つの心に沿ったケアサービスが発揮できるよう施設内研修を中心に取り組みを行った。施設内研修では、平成 30 年度職員全体会計画に基づき月 2 回（2 部制）実施した。内容としてユニットケアの理解、事故防止、高齢者虐待・身体拘束廃止、災害対応等、項目別に担当者を設け実施した。

施設外研修では、ユニットリーダーが「ユニットリーダー研修」に参加し、ユニットケアに対する理解を深め、研修参加後は研修課題を通じて職員の意見聴取や取り組みの実施に繋げ、ユニット内の入居者に対してケアの展開を図る事ができた。

2. 介護方針

(1) 離床対策

ご本人のニーズやご家族の希望も踏まえた生活状況の把握に努め、その方に応じた生活リズムを尊重しつつ、基本的には朝・昼・夕の食事・おやつは共同生活室にて摂取して頂いた。身体上、ADL 等の状況により座位がとりにくい方に対してもリクライニング式車椅子を活用する等し、離床時間を確保するように努めた。又、認知症によりご本人の判断が難しい方に対しても、日頃よりアセスメントを

実施し適切な離床時間確保に努めるようユニット単位で協議を行った。困難事例に関してはユニット会議を通じて現場職員の意見聴取し専門職の意見も踏まえ対応を行った。結果、食事以外の時間にユニット単位で余暇活動等を実施し、参加して頂いた。余暇活動内容（塗り絵、カラオケ、折り紙、書道、読書等）

（2）認知症入居者への対応

施設内研修にてユニットリーダーが中心となり、テーマを「ユニットケアの理解」とし勉強会を開催した。内容として、ユニットケアを理解し、認知症入居者の個性や生活リズムに沿ったケアができるよう学んだ。

（3）身体拘束ゼロ・虐待ゼロの推進

身体拘束防止委員会、虐待防止委員会を中心に、施設内にて委員が資料作成し勉強会の開催を行った。勉強会では厚生労働省の身体拘束廃止に関する資料を基にグループワーク等を実施し、身体拘束廃止・虐待防止に向けての検討会を行った。又、現場で感じた拘束(スピーチロック等)を、施設全体会議やユニット会議で話し合い介護職員の資質向上に努めた。

（4）在宅復帰

平成30年度は在宅復帰された方は居なかったが、カンファレンス時などご家族やご本人の意見を聞きながら、6ヵ月毎の担当者会を通じて在宅復帰が可能かを検討した。ご家族のニーズでご家族の近隣施設に移られる入所の方はいたが、在宅復帰に繋がる事例はなかった。

3. 生活援助方針

（1）食事と栄養

毎日の食事内容について、職員・入居者からの意見の聞き取りと、毎月の給食委員会では委託業者も交え検討した。食材では委託業者と協議し、出来る範囲で品質が良く、美味しいものに切り替えていった。常食・刻み・極刻み・ミキサー食(一部ソフト食導入)水分のトロミ等の基準をつくり、入居者の咀嚼・嚥下力に合わせた安全な食事が提供できるよう、率先的にとり進めた。又、行事食は季節感を感じてもらえるよう季節の食材を使用提供したことで、好評を得ることが出来た。介護面では入居者の残存機能を考慮し、ご自身で出来ることはやっただけのように言葉を掛け促していった。ご自身では無理な方に対しては、摂取時の姿勢などに留意しながら、安全に食べていただいた。また年末には、本部の方のお力も借りて恒例の「餅つき大会」を実施し、入居者の皆様にお餅を提供し季節・季節の味を堪能して頂いた。

(2) 口腔ケア

フリージア歯科の医師の指示のもと、歯科衛生士から指導を受けることで専門的なブラッシングを行うことが出来た。入居時にはフリージア歯科から無料検診をして頂き、入居後はご家族の協力のもと定期的に口腔状態のチェックを行った。また、原則として毎食後、口腔ケアを行い口腔内の清潔に務めることで、誤嚥性肺炎の予防にもつながった。

(3) レクリエーション・クラブ活動

全体行事として敬老会の開催をご家族様参加にて開催した。会場は3階大会議室と共有スペースを全面開放し、ご家族も招き外部ボランティアの武州太鼓・マジックショーを見て頂いた。入居者・ご家族とも大変喜ばれていた。食事に関しては、ご家族と共に食卓を囲み召し上がられ、食後には高知名物のお菓子を提供した。

またユニットの取り組みとして、個人のニーズに合わせ近くのスーパーへの買い物外出や、認知症予防、機能訓練のため書道、カラオケ、塗り絵等も実施した。3月後半にはお花見見学を企画し、全ユニットの入居者に対し可能な範囲で参加して頂いた。結果、多くの方に参加して頂く事が出来、大変好評であった。職員の人数から対応出来なかった地元のイベント等にも今後は積極的に参加していきたい。

(4) 排泄ケア

ユニットリーダーが中心となり排泄表の作成により入居者個人の排泄パターンの把握に努め、適切な時間のオムツ交換に努めた。可能な範囲で紙パンツより布パンツにシフト出来るようご家族の協力を得ながらオムツ除去に努めた。全体会では、オムツ等の取引先の排泄アドバイザーから排泄介助のアドバイスを受け、技術スキルの向上に努めた。

(5) 入浴ケア

週2回以上の入浴を基本に行った。個人のADLを把握し個浴、特浴のどちらが適切かを見極めケアに努めた。個浴に関してはマンツーマンでの介助とし、ゆっくり浴槽に浸かれる体制をとり入浴して頂いた。特浴に関しては基本2名の介助者により負担軽減を図りつつ「ゆっくり」と浴槽に浸かれる時間の確保に努めた。結果「気持ちよかった、ここのお風呂はいい」等の発言も多く聞かれた。

(6) 個別機能訓練

機能訓練指導員が、入居者の身体状態に合わせた機能訓練計画書を一人一人個別に作成し、目標・目的に沿って実施した。個別機能訓練実施曜日としては、4階＝月曜日（午前・午後）、3階＝火曜日（午前・午後）、2階＝水曜日（午前・午後）、

1階＝木曜日（午前・午後）、金曜日（全フロア）に実施。個別機能訓練及び集団体操。集団体操は月曜日から金曜日までうめぼし体操等のレク体操を実施し、日常生活での基本動作能力が現状よりも低下する事がないよう他職種との連携を持ちながら業務を遂行した。

（7）褥瘡予防ケア

入居時、退院時、入居後3ヵ月毎にOHスケールにて褥瘡の危険度判定を行い、高リスクの入居者については褥瘡委員会メンバーを中心として除圧や栄養面等から予防策について検討を行い褥瘡発生防止に努め、ユニットにおける日々のケアの実施に繋げた。その結果、30年度は該当する入居者はいなかった。

平成31年度も褥瘡発生時には、早期に褥瘡ケア計画を作成してケアを実施し、早期治癒を目指す。

（8）事故発生防止

介護事故報告書提出件数は7件であった。定例事故防止検討会にて専門職を交え月1回の開催を実施した。ヒヤリハットリスク1、ヒヤリハットリスク2の件数を出し内容の分析を行った。再発防止策が不十分の場合は、入居者の現状を会議の中で再分析し再発防止策の変更を行った。事故発生時にはご家族への説明を迅速に行い、協力病院と連携を図り、早期受診を行う事で重篤化防止に努めた。

（9）ケアプラン

包括的自立支援プログラムを活用しケアプランを作成した。事前にご本人・ご家族の意向を聞き取り、担当者会参加を促しながらケアプラン作成に努めた。不参加の場合は仮プランを事前に説明し対応した。プランニーズでは施設として①生命に関すること②ご入居者・ご家族の意向③その他優先すべき解決課題と優先順位を設け作成にあたった。解決すべき課題の取り組みやその他状態に変化が見られた際には随時担当者会を開き、多職種協働のもとケアプランを作成した。

（10）看取り介護ケア

入居者に対し、医師が一般に認められている医学的見地に基づき回復の見込みがないと診断した場合に、その後のケア内容につき医師をはじめ看護職員・介護職員等多職種が協働で計画したものを、ご本人及びご家族に対し十分な説明を行い合意したうえで、「その人らしさ」をより尊重した介護として提供した。平成30年度は、8月からの開始で10名の対象者を看取ることが出来た。ご家族からも「大変お世話になりました。有難うございました」と労いのお言葉を頂きました。

4. 医療と看護

入居時に何らかの既往症や疾患を有している入居者が少しでも苦痛なく、安心して生活ができる様に、協力病院である西部総合病院との連携を密に健康管理に努めた。日々一番身近でケアを行っている介護職員の気づきを大切に、看護師は異常の早期発見、早期受診を心掛けている。また日頃から多職種間での情報交換を行い、ご家族の思いにも寄り添える医療的な援助が出来る様努めている。また感染症はインフルエンザA型の罹患者が入居者・職員各2名ずつあった。ノロウイルスについては0名であった。

5. 利用者の状況

平成31年3月31日現在

(1) 現状

		男	女	計
異動状況	入所	12	24	36
～	退所	13	20	33
年齢構成	～64	2	0	2
	65～69	0	0	0
	70～74	1	3	4
	75～79	4	5	9
	80～84	4	10	14
	85～89	3	25	28
	90～94	5	18	23
	95～99	1	11	12
H31.3.31	100～	1	1	2
現在	計	21	73	94

(2) 入退所の状況

	入居前の状況			入居者 数 計	退所者の状況				退去者 数 計	籍 月 者 未 数 在
	在宅	医療 機関	老健そ の他		在宅復 帰	医療機 関入院	他の施 設	死亡		
4月	0	0	2	2	0	0	0	6	6	87
5月	4	0	0	4	0	0	0	0	0	91
6月	6	1	0	7	0	0	0	4	4	94
7月	3	0	0	3	0	0	0	1	1	96
8月	1	0	0	1	0	0	0	4	4	94
9月	2	0	0	2	0	0	0	1	1	94
10月	2	0	0	2	0	0	0	4	4	92
11月	5	0	0	5	0	0	0	2	2	95
12月	2	0	0	2	0	0	0	4	4	93
1月	0	0	0	0	0	0	0	3	3	90
2月	4	1	0	5	0	0	0	1	1	94
3月	3	0	0	3	0	0	1	2	3	94
計	32	2	2	36	0	0	1	32	33	94

(3) 利用者の生活状況〈平成31年3月31日現在〉

A 日常生活動作状況（在籍者：94人）

		人数	%
移 動	自立歩行	13	13.8
	一介付き添い	8	8.5
	車椅子	73	77.7
計		94	100.0
排 泄	自立	13	13.8
	一部介助	24	25.5
	全介助	57	60.7
計		94	100.0
食 事	自立	61	65.0
	一部介助	16	17.0
	全介助	17	18.0
計		94	100.0
入 浴	自立	3	3.2
	一部介助	31	33.0
	全介助	60	63.8

	計	94	100.0
整 容	自立	23	24.5
	一部介助	16	17.0
	全介助	55	58.5
	計	94	100.0
寝 返 り	自立	33	35.1
	一部介助	9	9.6
	全介助	52	55.3
	計	94	100.0
着 脱 衣	自立	10	10.6
	一部介助	28	29.7
	全介助	56	59.7
	計	94	100.0

B 面会者状況

回数	男	女	計
0	1	2	3
1~2	2	3	5
3~4	0	0	0
5~6	1	4	5
7~8	2	1	3
9~10	1	2	3
11~12	1	4	5
13~	13	57	70
計	21	73	94

※対象者：平成31年3月31日 在籍者

※期 間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

(4) 外泊状況

外泊回数	男	女	計
0	21	69	90
1~2	0	2	2
3~4	0	2	2
5~6	0	0	0
7~8	0	0	0
9~10	0	0	0
11~12	0	0	0
13~	0	0	0
計	21	73	94

※対象者：平成31年3月31日在籍者

※期 間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

(5) 特養入所者状況、ショートの利用者状況

【平成30年度のべ利用者数の月別推移】全96床

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
入居	2,490	2,623	2,692	2,880	2,916	2,766		
ショート	0	0	0	0	0	0		
小計	2,490	2,623	2,692	2,880	2,916	2,766		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	稼働率
入居	2,748	2,712	2,892	2,818	2,583	2,908	33,028	94.26
ショート	0	0	0	0	0	0	0	0.00
小計	2,748	2,712	2,892	2,818	2,583	2,908	33,028	94.26

【年度別稼働率推移表】

						(%)
年度	H28	H29	H30	H31	H32	平均稼働率
入居	50.63	80.89	94.26			75.26
ショート	0.00	0.00	0.00			0.00

平成 30 年度行事実施報告

(備考)

月 1 回 *誕生日会

毎 週 *ユニット内にてカラオケ、塗り絵、書道

その他 レク

月	行事
4	
5	端午の節句 母の日
6	父の日喫茶店
7	七夕
8	
9	敬老会
10	ハロウィン
11	
12	防災訓練 クリスマス忘年会 餅つき
1	新年会
2	節分 バレンタイン
3	ひな祭り 防災訓練

全体会研修実績・出席表

月日	研修内容	担当者	出席人数
4/16・20	・平成30年度事業計画について	施設長代理	18
	・ユニット目標の発表	チーフ	
	・身体拘束廃止研修	ユニットリーダー	
5/14・18	・食中毒防止について	看護師	23
	・感染予防について	感染症委員会	
6/11・15	・オムツの当て方・基礎知識	ユニ・チャーム	25
7/17・20	・虐待、身体拘束廃止について	事務長	28
8/13・17	・口腔ケアについて		12
9/10・14	・認知症ケアについて	ユニットリーダー	24
10/15・19	・感染予防について	感染症委員会	21
	・身体拘束廃止研修	施設長代理	
11/16・19	・服薬について	総合薬局	24
	・個人情報保護法について	施設長	
12/10・14	・法令遵守について	施設長	22
1/15・18	・医療について	水上医師	23
	・身体拘束廃止研修	施設長	
2/12・15	・接遇マナーについて	永井ケアマネ	12
3/11・15	・虐待、身体拘束防止について	施設長	25
	・事故及び事故防止について	事故防止委員会	

以上